

明野地域

まちづくりビジョン

－明野地域の将来像－

ひとが創る ひとが安心 ふるさと明野 そして未来



明野地域ビジョン会議

平成30年7月

明野地域まちづくりビジョン『提言』

提言1 多世代が交流する地域コミュニティの新構築を

明野地域のこれまでのコミュニティ形成においては、恵まれた生活環境と職縁の役割が大きかったが、時代の変遷とともに変化する生活様式や価値観に対応できる新しい地域ネットワークが必要である。隣人の顔が見えるふれあいを積み重ね、多世代が交流する地域コミュニティの新構築への行動が求められている。

提言2 明野を総合防災拠点に

安心して暮らせるまちを実現するためには、地域が一体となった防災・防犯対策が不可欠である。幹線道路や公園などインフラの骨格が充実した立地特性を生かし、災害避難時を想定した道路整備等のハード面からご近所の安否伝達等のソフト面まで、まちづくりの知恵を持ち寄り、地域防災を研究・実施する大分市の総合的な防災拠点となることが望まれる。

提言3 新しい試みと魅力の発信を

新産業都市企業群を支える新興団地起工から50年、ゆとりある住まいは生活者の利便性だけでなく、生産活動の一翼をも担っている。そのような明野には、新しい住まい方を提案する住環境整備、多世代交流を推進する施設整備、利用実態に即した公園整備など、新しい試みのモデル地区として、その魅力の発信が必要である。

提言4 多様な文化活動の広がりや深まりの推進を

明野地域の三大大行事（大体育祭、明野まつり、芸能祭）は住民交流の場として定着し、地域の融和や団結への期待は今も大きい。交流による出会いは、人と人をつなぎ、まちへの愛着と文化をはぐくみ、次代の担い手育成の契機となる。交流文化の灯が絶えぬよう、多様な文化活動の広がりや深まりを推進したい。

明野地域ビジョン会議

— 目 次 —

地域まちづくりビジョンとは	1
本章	
第1章 地域の特性	
1 地理的特性	2
2 地域の歩み	2
第2章 地域の現状	
1 土地利用の状況	4
2 地域内の施設	6
3 指定避難所・福祉避難所等	8
4 市民との協働によるまちづくりの取組	10
5 まちづくりコミュニティ	12
6 明野三大行事	14
第3章 人口推移と将来推計	
1 大分市の人口推移と将来推計	16
2 明野地域の人口推移と将来推計	18
3 大分市の人口ビジョン	18
第4章 地域の現状分析	
わたしたちの住む地域について(SWOT分析)	19
第5章 地域の目指すべき姿(将来像)	
明野地域の将来像	22
第6章 将来像実現に向けた取組	
1 これからのまちづくりに向けた市長への提言	23
2 提言に基づく取組一覧	24
資料	
1 策定経過	27
2 明野地域ビジョン会議委員、顧問及び事務局名簿	28
3 大分市地域ビジョン会議設置要綱	29

本章



地域まちづくりビジョンとは

わが国では、急速に少子高齢化が進み、本格的な人口減少社会を迎える中、大分市においても、今後、人口減少が予測され、地域の活力維持や地域コミュニティの希薄化など、さまざまな課題が懸念されています。これらの課題解決のためには、行政が地域の実情や意向等を的確に把握し、市政への反映に努めることが必要と考えております。

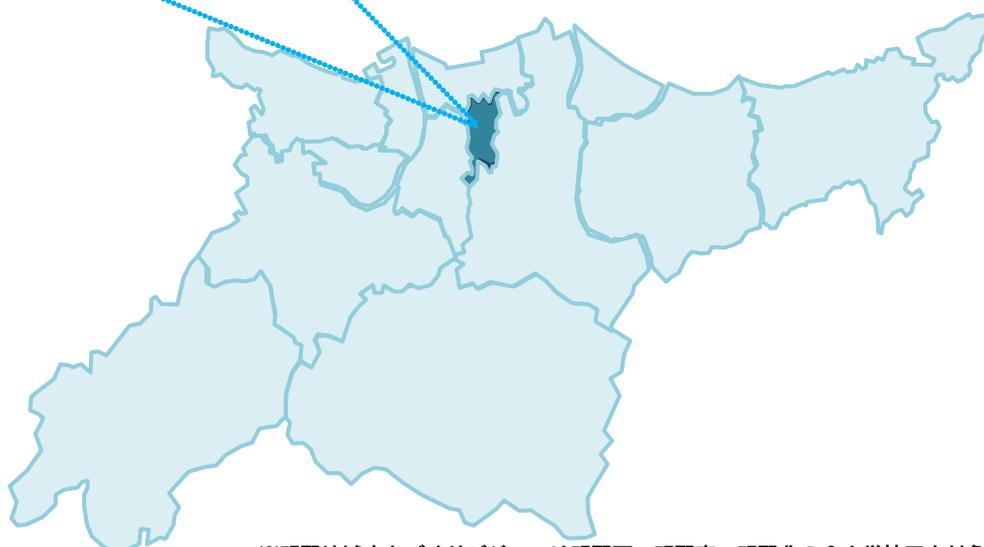
このような状況を受け、地域の活力維持・増進を図ることを目的に、市内13地域において、各地域の代表者で構成する「地域ビジョン会議」を平成29年5月に設置し、それぞれの地域の現状と課題などを議論し、地域の将来像として「地域まちづくりビジョン」を策定しました。

本ビジョンでは、明野地域ビジョン会議で取りまとめました「明野地域まちづくりビジョン」について、大分市長に提言いたします。



<市内13地域における地域ビジョン会議>

大分中央地域	大分東部地域	大分西部地域
大分南部地域	南大分地域	鶴崎地域
大南地域	植田地域	大在地域
坂ノ市地域	佐賀関地域	野津原地域
明野地域		



※明野地域まちづくりビジョンは明野西、明野東、明野北の3小学校区を対象としています。

第1章 地域の特徴

1 地理的特性

明野地域は、大分市の中心市街地から東へ約4キロメートルに位置し、北には松栄山、南には高尾山と、眺望と風致に富む丘陵地にある住宅地です。

複合商業施設には、日常の買い物と利便性の高い生活サービスを求めて、他の地域からも多くの人が入り込みます。主要な幹線道路が交差し、東に明治、西に下郡、南に公園通り、北に牧・高城と、自動車での移動は比較的容易です。

道路勾配により徒歩や自転車での移動がやや困難な場所もありますが、津波による直接被害の心配がなく、風水害にも強い地域です。また、豊かな緑が四季を通じて憩いを提供しています。



2 地域の歩み

大分郡明治村猪野山であったこの地に戦後開拓が始まり、開拓農業協同組合設立準備会において明野と命名され、昭和38年の新大分市発足とともに大分市明野となりました。

大分市が新産業都市に指定されたことを契機に、昭和40年に大分県住宅供給公社が造成を開始、県営住宅に次いで進出企業の社宅などが供給され、徐々にまちが形成されていきました。

全国各地からの転入者が多く、故郷も方言も違う住民同士の交流に、気軽に参加できるイベントやスポーツ行事が活用されてきました。昭和46年には明野センターがオープンし、多くの人でにぎわいました。寺社がないこともあり、住民主体のまちづくりによって、地域の歴史、伝統、文化を積み上げています。



明野の年表

※明野 50 周年記念事業推進協議会「明野のあゆみ（第 2 部）」等より引用

- 明治 22 年 市制町村制により明治村が置かれる
人家は少なく松林と雑木が群生する原野
- 昭和 20 年 第二次世界大戦終戦、開拓者の入植が始まる
- 昭和 23 年 開拓農業協同組合設立準備会において
開拓地を「明野」と命名
- 昭和 24 年 道路整備を開始
- 昭和 29 年 5 町村の合併により鶴崎市発足
(鶴崎町、松岡村、高田村、明治村、川添村)
- 昭和 36 年 明野開拓地を大分鶴崎臨海工業地帯の社宅用地
として県が指名、買収
- 昭和 38 年 6 市町村の合併により新大分市発足
(大分市、大南町、鶴崎市、大分町、坂ノ市町、大在村)
- 昭和 39 年 大分工業高等専門学校が開校、高城団地造成
- 昭和 40 年 明野第 1 工区造成開始 (緑町)
- 昭和 42 年 明野第 2 工区造成開始 (西町)、貝小池造成
- 昭和 43 年 明野第 3 工区造成開始 (北町、元町)、
明野第 4 工区造成開始 (東町、旭町、南町)
- 昭和 44 年 警察駐在所開設
- 昭和 45 年 第 1 回明野まつり開催、高城台造成開始、
明野第 5 工区造成開始 (日の出)
- 昭和 46 年 明野西小学校開校、明野センターオープン
- 昭和 47 年 明野東小学校開校、明野中学校開校、明野派出所開設、
明野消防署開設、市役所明野出張所開設
- 昭和 49 年 明野高尾造成開始
- 昭和 50 年 明野北小学校開校
- 昭和 51 年 大分高等学校が明野高尾に移転
- 昭和 53 年 「明野音頭」制作
- 昭和 54 年 第 1 回明野大体育祭開催
- 昭和 63 年 明治明野公民館開館
- 平成 6 年 明野まつり 25 周年
明野社協結成 20 周年合同式典開催
- 平成 7 年 明野交番新築移転
- 平成 8 年 萩原明野線全線開通
明治明野公民館「こどもルーム」開設
第 1 回明野芸能祭開催
- 平成 10 年 明野西小学校体育館完成
- 平成 14 年 中央消防署明野出張所完成
- 平成 15 年 明野東小学校体育館完成
- 平成 18 年 健康づくりのまち明野実行委員会発足、
庄の原佐野線滝尾・明野地区促進期成会準備会発足
あけのアクロスタウンオープン (再開発)
- 平成 19 年 庄の原佐野線滝尾・明野地区促進期成会結成
- 平成 21 年 証明書自動交付サービス開始
- 平成 26 年 明野 50 周年記念事業推進協議会設立
- 平成 27 年 明野団地開発 50 周年記念式典
「明野創生ビジョン～明野コミュニティの新構築～」を発表
- 平成 28 年 明野創生ビジョン推進会議が発足
人が安心・明野創生実行委員会発足 (名称変更)
- 平成 29 年 明野出張所を明野支所に組織変更
明野地域まちづくりビジョン会議



第2章 地域の現状

1 土地利用の状況

本地域は、臨海工業地帯の背後に位置する約1万世帯を擁する住宅地で、公営住宅、企業社宅、企業独身寮、一戸建て、分譲マンションなどのさまざまな住居形態が混成配置されています。また、緑の骨格が風致豊かに形成され、数多くの公園が生活の一部として身近に感じられます。

幹線道路によって東西と南北に交通の軸が形成されています。中心部に位置する複合商業施設「あけのアクロスタウン」と、東部に位置する県道松岡日岡線のロードサイド店舗は、多くの人により日常的に利用されています。

公立小学校3校、中学校1校とともに、私立中学校1校と私立高等学校1校、工業高等専門学校が1校あり、放課後児童育成クラブが小学校にそれぞれ配置されています。また、公立幼稚園1園（平成30年度は休園）、私立幼稚園5園、認可保育所2園、認可外保育所2園が運営されています。

勾配は緩やかながら坂道が多いことから、特に高齢者にとって、徒歩での移動に困難が生じています。



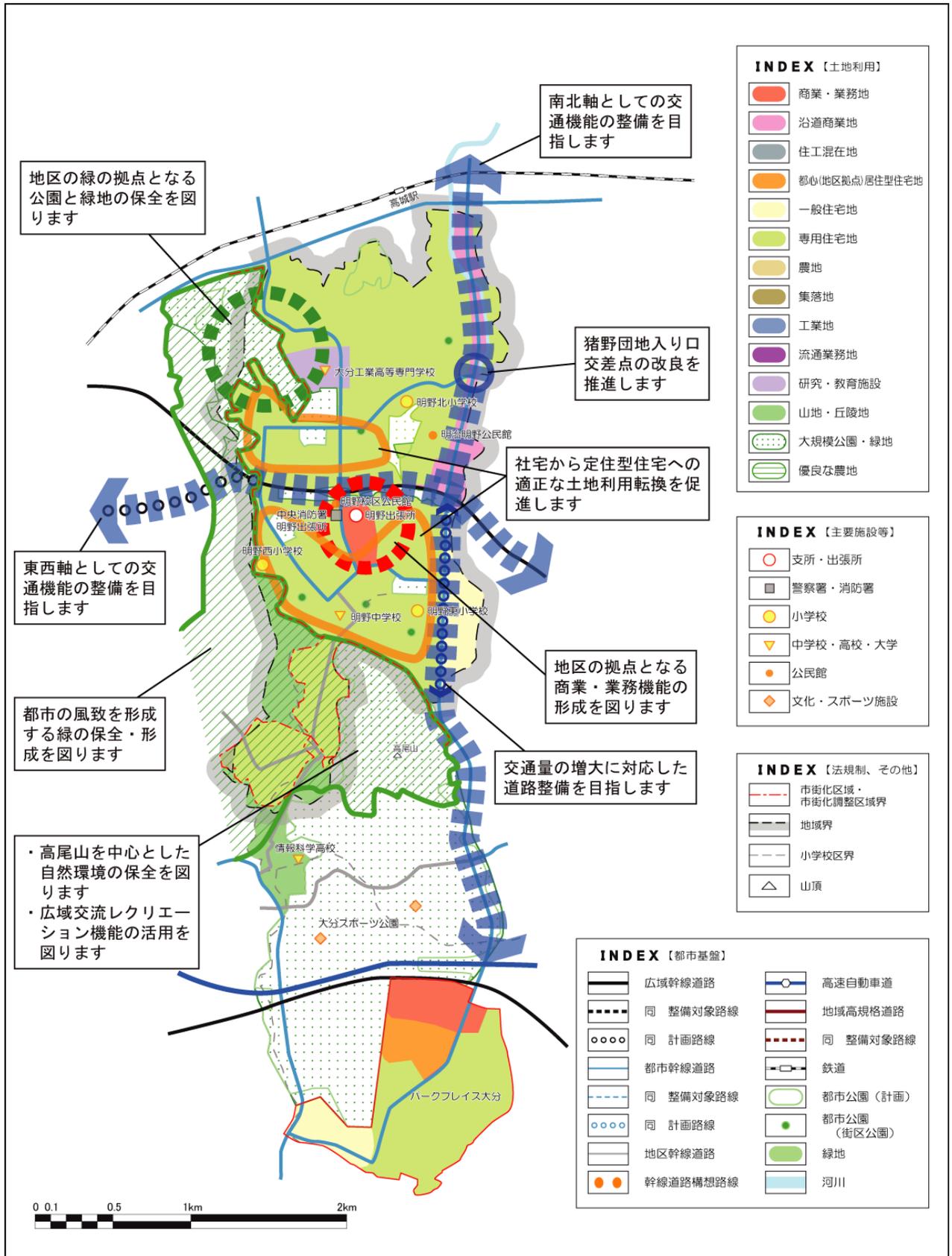
大分市都市計画マスタープラン（平成23年策定）では、「緑に包まれ、成熟した生活文化拠点の形成」が明野地区のまちづくりの目標とされ、

- 1) 商業施設や生活サービス施設などの機能強化による地区拠点の形成
- 2) 社宅から定住型住宅への適正な土地利用の転換
- 3) 都市計画道路庄の原佐野線の整備
- 4) 生活道路の安全性確保
- 5) 緑豊かで良好な景観の形成

などが示されており、マクロ的視野でのバランスの取れた都市の成長と、生活者の視点でのきめ細やかな課題解決が求められています。

近年では、老朽化した社宅が解体され、大型分譲マンションが何棟も建設されるなど、様相の変化も見られます。

大分市都市計画マスタープラン（平成23年3月策定）



2 地域内の施設

施設名称	所在地
明野支所	明野東 1-1-1
明治明野公民館	明野北 4-7-8
明野コミュニティルーム	明野東 1-1-1
明野校区公民館	明野南 1-2364-1
中央消防署明野出張所	明野南 1-1-10
大分中央警察署明野交番	明野南 1-3-1
明野西小学校	明野南 2-6-1
明野東小学校	明野東 3-2-1
明野北小学校	明野北 4-10-1
明野中学校	明野南 3-7-1
大分中学校	明野高尾 1-6-1
大分高等学校	明野高尾 1-6-1
大分工業高等専門学校	大字牧 1666
明野幼稚園	明野東 5-12-3
明野第一幼稚園	明野西 1-22-1
ルナ幼稚園	明野南 1-21-1
ひまわり明野幼稚園	明野東 1-6-41
まきの幼稚園	明野北 1-9-1
カトリック明野幼稚園	明野北 2-8-16
明野こども園	明野西 1-5-4
明野しいのみ保育園	明野西 2-25-2
明野地域包括支援センター	明野東 1-1-1



明野支所



明治明野公民館



明野交番・中央消防署明野出張所



明野西小学校



明野東小学校



明野北小学校



明野中学校



大分中学校・大分高等学校



県道大分日杵線



県道松岡日岡線



市道萩原東明野線

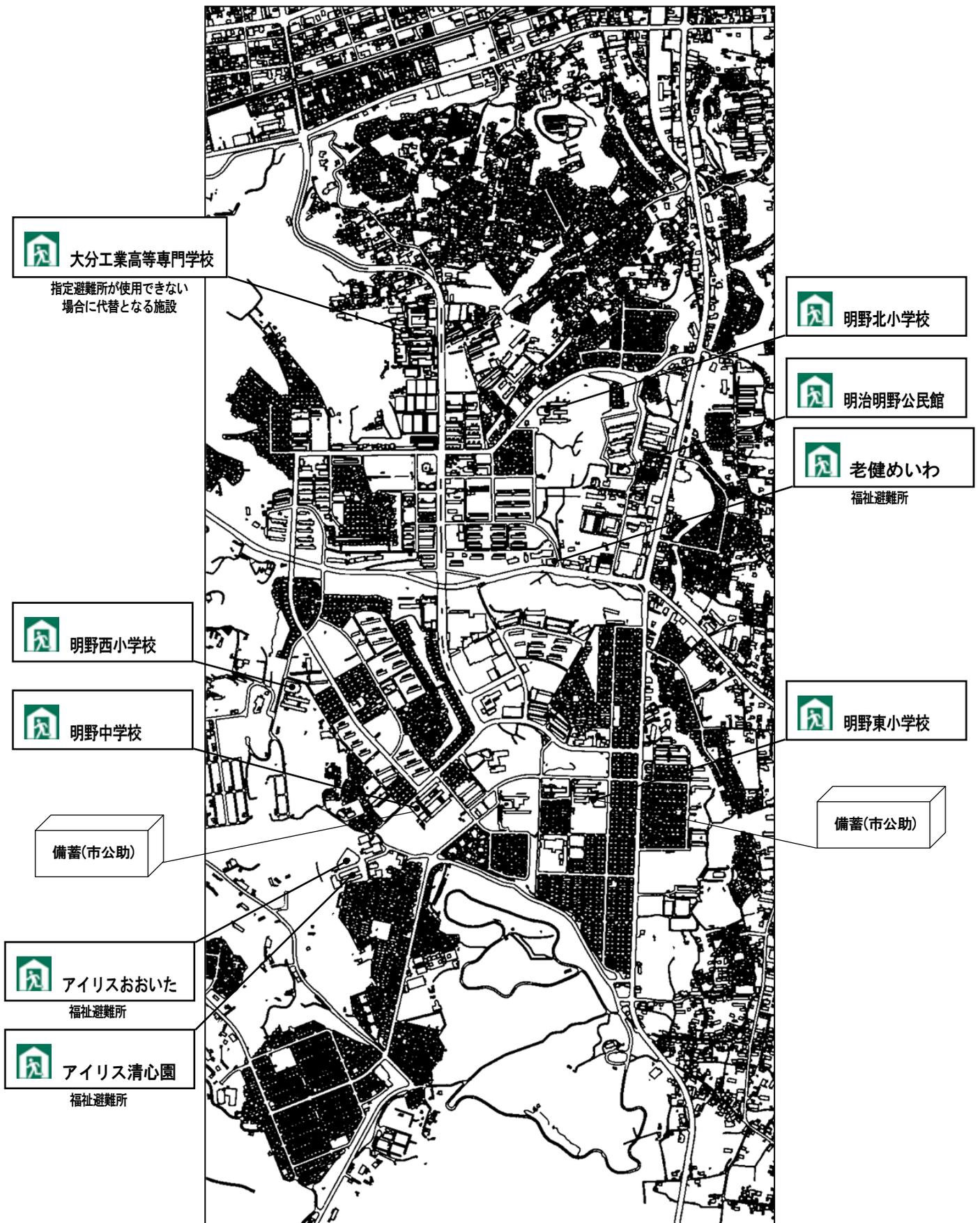


市道明野南北大通り線

区分	施設名称
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・県道大分臼杵線 ・県道松岡日岡線 ・市道萩原東明野線 ・市道明野南北大通り線 ほか
公営住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・県営住宅 1,357 戸 ・市営住宅 216 戸
上下水道	<ul style="list-style-type: none"> ・上水道給水普及率 100% ・公共下水道人口普及率 100%
公園	<ul style="list-style-type: none"> ・街区公園 35 か所 ・地区公園 1 か所 ・風致公園 1 か所 ・近隣公園 3 か所 ・都市緑地 5 か所 <p>○明野西校区 明野第 1 児童公園、明野若葉公園、明野第 2 児童公園、 奥山公園（近隣公園）、明野青空公園、明野緑地（都市緑地）、 明野大谷公園（近隣公園）、明野長尾公園、松栄山公園（風致公園）、 シルバー公園、朝日公園、赤坂公園、明野けやき広場、 明野くすのき緑地（都市緑地）、明野南一丁目緑地（都市緑地）</p> <p>○明野東校区 明野うぐいす公園、明野高保公園、野中公園（近隣公園）、 明野南児童公園、明野迫児童公園、明野東公園、高尾 1 号公園、 高尾 2 号公園、明野ふれあい緑地（都市緑地）</p> <p>○明野北校区 あけぼの公園、明野北公園、高城公園、天然塚公園（地区公園）、 高城台東公園、高城台西公園、高城台北公園、小池原公園、 みのさと公園、高城むつみ公園、紅陽台東公園、紅陽台西公園、 池ノ平児童公園、明野ハイツ公園、女夫池公園、ヒルズ明野公園、 瑞穂公園、明野東原公園、則小池ちびっこ公園、高城台青空公園、 高城台青空緑地（都市緑地）</p>



3 指定避難所・福祉避難所等



○指定避難所

校区	施設名称	避難所を開設する災害の種類				一時 収容人数	収容人数
		地震	洪水	がけ崩れ 地滑り等	津波		
明野東	明野東小学校(体育館)	○	○	○	○	919	459
明野西	明野西小学校(体育館)	○	○	○	○	1,215	607
明野北	明野北小学校(体育館)	○	○	○	○	886	443
明野西	明野中学校(体育館)	○	○	○	○	1,053	526
明野北	明治明野公民館(集会室)	○	○	○	○	531	265

○福祉避難所

校区	施設名称	所在地
明野東	特別養護老人ホーム アイリスおおいた	大字横尾 4451-8
明野西	養護老人ホーム アイリス清心園	大字横尾 4451-19
明野北	老健めいわ	明野北 1-2-18

○災害用備蓄物資（市公助分）

校区	施設名称	整備年度	保管場所
明野東	明野東小学校	平成 25、29 年度	余裕教室
明野西	明野中学校	平成 26 年度	余裕教室



○自主防災組織

校区	組織名称	防災士（人）		
		男	女	計
明野西	明野緑町自主防災会		1	1
明野西	明野西町自主防災会	1		1
明野西	明野南町防災会	1	1	2
明野西	パークシティ明野自主防災会	4		4
明野東	明野東町防災会			0
明野東	明野旭町防災会	2		2
明野東	明野日の出防災会	2		2
明野東	明野さつき町自主防災会	1	1	2
明野東	明野高尾防災会	2		2
明野北	東原自主防災会	2		2
明野北	明野北町防災会	1	1	2
明野北	明野元町防災会			0
明野北	高城団地自主防災会	2		2
明野北	明野則小池自治会防災会	2		2
明野北	高城台自治会防災会	2		2
明野北	天然町自主防災会	2		2
明野北	池の平自治会防災会	1	1	2

○ご近所の底力再生事業

地域のコミュニティ醸成や活性化を目的に、積極的な課題解決やふれあいの場づくりに取り組む事業に対して市が助成金を交付しています。地域で話し合い、環境美化、健康づくり、住民同士のふれあい、広報活動などの事業を実施しています。



○明野地域ビジョン会議

策定期間（平成 29 年 5 月～平成 30 年 7 月）に、準備会議に続き 5 回の本会議が開催されました。地域の特性や強み弱みを共有・可視化し、地域の目指すべき姿を出し合いました。さまざまな視点と切り口から情報を分析し、現状との重ね合わせの上、委員が提言を取りまとめています。

本地域では、自治会と諸団体の代表者によって、まちづくりに関する調査や研究を以前から進めており、平成 27 年には「明野創生ビジョン」を発表しています。地域ビジョン会議は「明野創生ビジョン」を土台に展開され、より短いスパンを視野にした議論となりました。



市の行政委員（平成 30 年 4 月現在）

健康推進員 明野校区 15 人
地域の健康づくりを推進しています。（保健所健康課）

クリーン推進員 明野地区 21 人
地域の環境美化を推進しています。（清掃業務課）

交通指導員 西校区 2 人、東校区 1 人、北校区 2 人
地域の交通安全を推進しています。（生活安全推進室）

自治委員 明野地区 17 人
市と地域を結ぶ行政連絡員として、地域への情報伝達や災害対応を担っています。（市民協働推進課）



5 まちづくりコミュニティ

自治会

【明野東校区】 東町、旭町、日の出、さつき町、明野高尾

【明野西校区】 緑町、西町、南町、パークシティ明野

【明野北校区】 東原、北町、元町、高城団地、則小池、高城台、天然町、池ノ平

明野地区自治会連合会

地域活動のセンター機能を担うため、あけのアクロスタウン内に事務所を設置。各活動組織や行政との情報連絡や連携などを行います。

明野地区体育協会

スポーツを通じての住民交流、体づくりとスポーツ精神を養うことを目的に、各種スポーツ事業を企画・開催します。

明野地区社会福祉協議会

地域福祉推進の自主組織で、住民同士が生活上の福祉課題や困りごとを、関係機関や専門機関などと連携・協働しながら解決につなげていきます。

明野校区公民館

地域での社会教育と生涯学習の拠点、地域活動の拠点を担う。教養、調査研究、レクリエーションやサロンなど、さまざまな講座や活動を実施しています。

明野地区青少年健全育成連絡協議会

次代を担う青少年を健全に育成することを目的に活動。明野地区「家庭の日」推進大会では、児童・生徒による意見の発表や標語の表彰をしています。

明野地区民生委員児童委員協議会

地域の民生委員が連携・協力し合い、知識や技術等の相互促進を目的とした福祉ネットワーク。最も身近なセーフティネットとして期待されています。

明野地区人権尊重推進協議会

地域が主体となって人権課題の認識を身につけ、人権教育・啓発に生かすことを目的に設立。住みよいまちづくりを推進するため、継続的に活動しています。

明野地区地域婦人団体連絡協議会

女性の地域活動の推進と課題の解決に向けて活動。地域福祉、高齢化、青少年健全育成など、女性の視点と行動力を生かした活動を実践しています。

明野地区老人クラブ連合会

【明野東校区】 明野高尾おつみ会、ふれあいさつき会、日の出寿会、旭町あさひ会

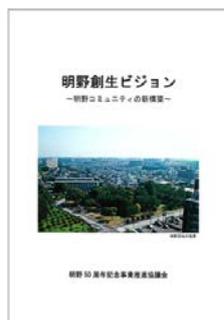
【明野西校区】 南町ふれあい会、パークシティ明野明桜会、緑町老人会グリーンクラブ

【明野北校区】 池ノ平老人クラブおつみ会、高城台老人クラブ幸寿会、東原寿栄会、北町老人クラブ明寿会

明野創生ビジョン推進協議会

明野の魅力、課題、将来像が網羅的に記載された「明野創生ビジョン」の実現に向け、活動を推進しています。

本会のリーディングプロジェクトである「多世代交流プラザ」「複合型防災訓練センター」の建設について、平成29年に要望および陳情を行いました。



明野創生ビジョン推進協議会 結成総会

次世代の会 明野想成塾

世代の橋渡し役として、未来の担い手となるべく地元有志により結成。先人の知恵とフォークロアの継承、新しい力の結集と情報発信をしています。平成29年には、おおいたNPOデザインセンターとともに「まちづくりカフェ」を開催しました。

四角座懇談会

平成25年10月より毎月1回、地域の活動家が朝食をともにしながらフリーテーマでディスカッションしています。時折、ゲストの参加もあります。

明倫会

平成28年10月より毎月1回、明野地区諸団体の代表のOBが集まり、地域課題について協議をする懇談会を開催しています。

明野高尾ふれんどまちづくり

「元気なまち みんなで つくろうえ」を合言葉に、主に明野高尾周辺の住民で組織。自治公民館を中心に体操教室、フレンドカフェやこども広場を実施し、支えあう地域づくりを実践しています。

庄の原佐野線滝尾・明野地区促進期成会

大分市の交通の大動脈として位置付けられる都市計画道路「庄の原佐野線」の早期完成をめざし、地域の要望の声を受け、滝尾・明野地区の強い連携のもと平成19年に設立されました。

平成29年7月には第11回総会が開催され、円滑な事業の推進とともに明野東交差点までの整備促進に向けて、気運の醸成を図りました。

平成29年度には米良バイパスまでの「下郡工区」が事業着手され、平成30年1月には、宗麟大橋を含む「元町一下郡工区」が供用開始となる中、引き続き活動を継続します。



明野想成塾での活動



四角座懇談会の様子



明倫会での交流風景



こども広場



宗麟大橋渡り初めイベント



市長室にて要望書を手渡しました



宗麟大橋から明野を望む

「コミュニティ・スクールづくりをめざして」の研修会

平成30年3月、明野地域の諸団体・機関の代表が一堂に会し、明野4小中学校長主催の研修会が開かれました。コミュニティ・スクールは「地域が参画する学校づくり」を実践するために、平成29年の法改正により学校運営協議会の設置が課されているものです。その導入に向けて明野地域の小中学校が連携していることは非常に心強く、地域と学校の切れ目のない連携が、まちづくりの可能性を広げるチャンスとなるよう、今後とも学びを継続していきます。

6 明野三大行事

明野大体育祭

昭和45年、「第1回明野団地まつり」の中の企画で「少年ソフトボール大会」と「ママさんバレーボール大会」が実施されました。昭和47年に明野地区体育協会が発足、年々盛大になりながら「大体育祭」となり、昭和54年には運動会的要素を含んだ大会になりました。

平成30年で第39回目となり、毎年、明野中学校のグラウンドで多くの参加者（約3,000人）が汗を流しております。リレーや仮装行列は特に盛り上がり、運動の得手不得手に関係なく老若男女が自治会対抗でたかひます。

明野地域のスポーツ交流の原点であり、今後とも顔が見える交流を重ね、住民活動の広がりにつなげていきます。

明野まつり

全国各地からの転入者が多かった明野団地の子どもたちに、ふるさと意識を持ってもらいたいという願いから、だれでも気軽に参加できる、ふれ合いと親睦の行事として誕生しました。

平成29年で第48回目の開催、明野地域内外から多くの来場があります。地域、企業、諸団体が実行委員会として協働し、大きく成長しています。

まつりの1日目は、子ども神輿やのど自慢大会。2日目には、明野緑地の本格的な土俵で自治会対抗「子ども相撲大会」があり、固唾を飲みつつ、かわいい小学生力士たちを応援します。昔の遊びや工作コーナーは子どもだけでなく、大人にも人気です。3日目の「ふるさと踊り大会」では、ゆかたが汗だくになるまで明野音頭を大勢で踊ります。



明野地区芸能祭

明野校区公民館主催のこの行事は、芸能文化の振興と住民交流を目標に掲げ、地域の活性化と住民の絆を強めていくものです。

平成29年で第22回目の開催となり、20組以上の地元の芸能文化団体や児童・生徒が出演します。歌や演奏、舞踊など、活動の成果をステージで披露します。

明野地区文化振興協議会を発足するなど、さらなる文化振興が期待されています。



「明野地区手作り作品展」

あけのアクロスタウンを会場に、多くの作品が展示され、たくさんの来場者でにぎわいます。写真、絵画、書、彫刻、工芸、手芸など、日常の合間をみつけては制作したであろう入魂の逸品が多種多様に展示されています。なかには、玄人はだしの作品もあり、異彩を放っています。

明野地域のアート人材の豊富さとともに、日常にアートを取り入れるための場づくりの重要性が感じられます。



◎明野音頭 (昭和53年制作)

作詩：加地静日 改作詞・作曲：本間繁義 編曲：押尾司
歌：冠二郎

- 一、ハアーここはふるさと みどりの明野 笑顔明るい 若いまち
柳並木を みんなで行けば 胸に幸せ 湧いてくる (サテ)
明野音頭は 七重に八重に 丸く仲よく 輪になって
- 二、ハアー夢は大きく 伸びゆくところ 日本一だよ 街づくり
生れ育ちは 違っていても 心ひとつに 寄せ合って (サテ)
明野音頭は 七重に八重に 丸く仲よく 輪になって
- 三、ハアー若い陽が照る そよ風ゆれる つなぐ手と手に 血がかよう
野中奥山 天然塚に 恋の花咲く ときもある (サテ)
明野音頭は 七重に八重に 丸く仲よく 輪になって
- 四、ハアー明野祭りだ 楽しじゃないか 丸尾山さえ 浮かれてる
はずむ踊りに 想いが燃えて 月もほんのり 薄化粧 (サテ)
明野音頭は 七重に八重に 丸く仲よく 輪になって

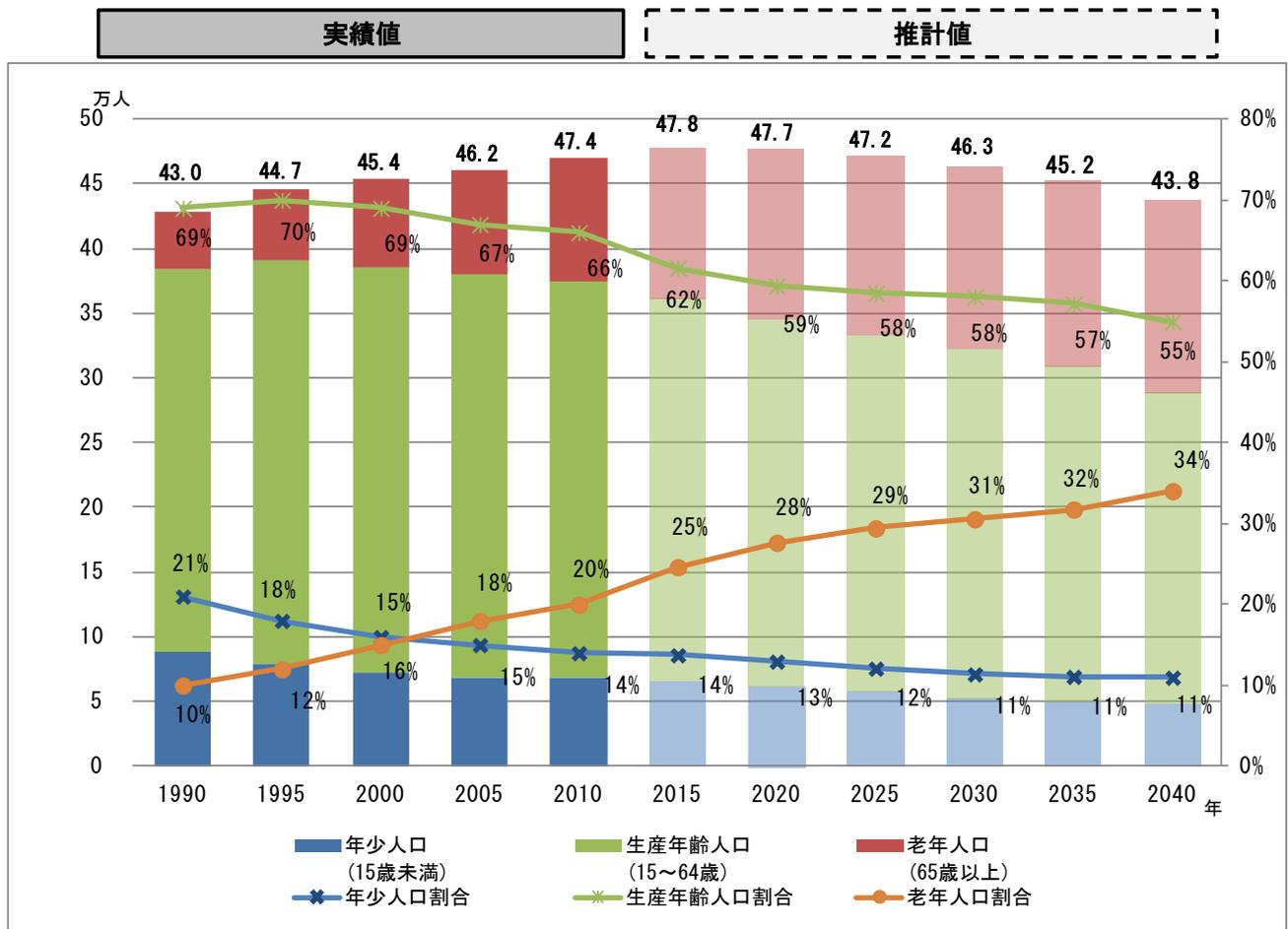
第3章 人口推移と将来推計

1 大分市の人口推移と将来推計

①総人口・年齢3区分別人口の推計

2010（平成22）年国勢調査を基本に、2013（平成25）年3月発表の国立社会保障・人口問題研究所の数値を用い、将来人口を推計しています。

また、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、このままの状況で人口が推移していけば、2010（平成22）年から2040（平成52）年までの30年間で、本市の総人口は約3.6万人、生産年齢人口（15歳～64歳）は約6.5万人減少すると予測されています。一方、老年人口（65歳以上）は約5.3万人増加し、高齢化率は34%に達すると予測されています。



※2010（平成22）年まで総務省統計局「国勢調査」（2015（平成27）年以降は国立社会保障・人口問題研究所推計）
2000（平成12）年以前の人口は、旧佐賀関町、野津原町の人口を含む

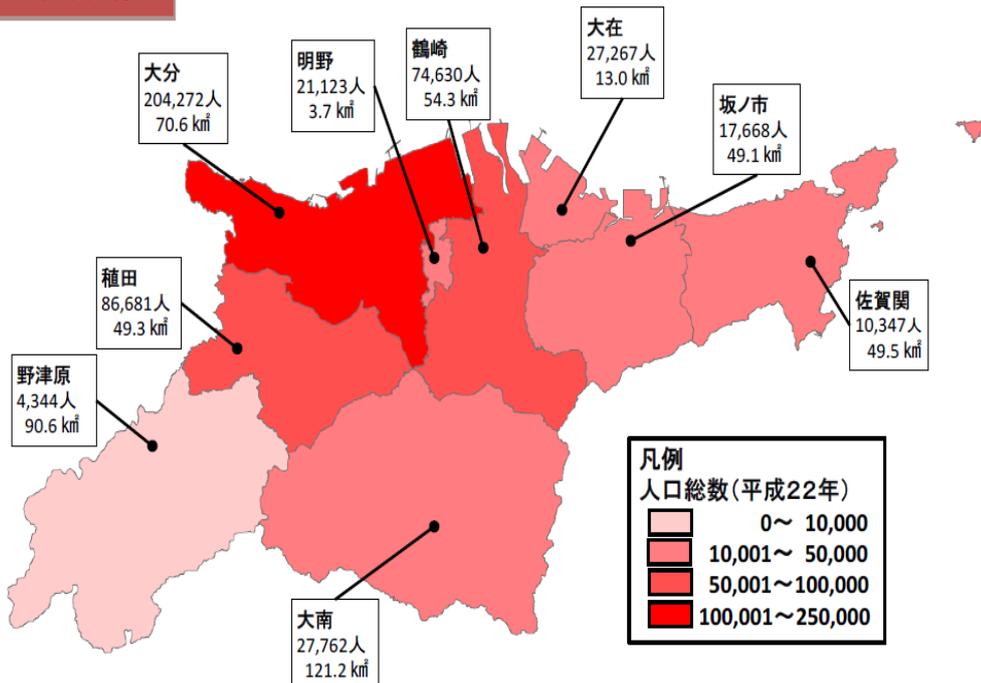
（大分市人口ビジョンより）

②人口動向（地域の将来人口）

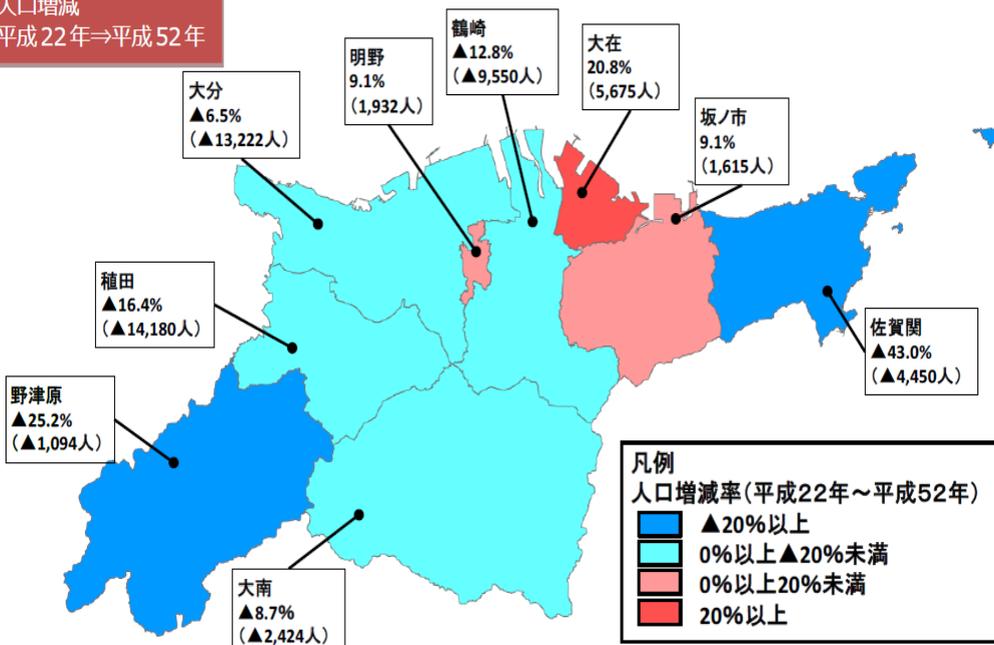
本市の総人口の減少に伴い、多くの地域で人口増加は見込めない状況です。同じ市内でも地域ごとに年齢構成や人口動態が大きく異なっているため、課題の抽出や対策について、それぞれの地域ごとに検討する必要があります。

【今後30年間(平成22年→平成52年)の地域別(支所管轄を基本とした9地区)人口推計】

平成22年の人口分布



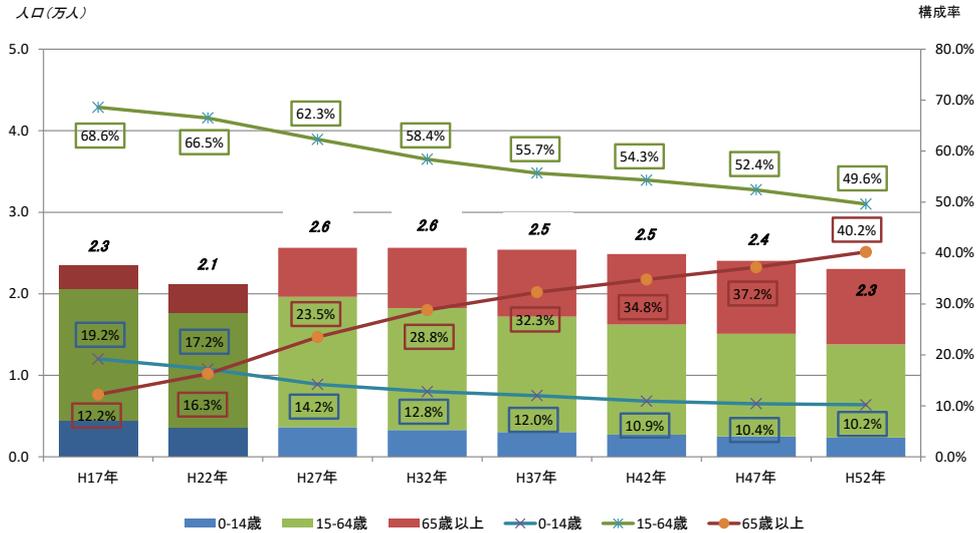
人口増減
平成22年⇒平成52年



※平成52年総人口は国立社会保障・人口問題研究所推計。地域別人口については社会増減の補正を行い推計。
(大分市人口ビジョンより)

2 明野地域の人口推移と将来推計

2010（平成22）年の明野地域の人口は、本市の総人口の約4.5%を占めています。2010（平成22）年時点の高齢者人口の割合は低水準ですが、2040（平成52）年には高齢人口の割合が市全体（34%）と比較してより大きくなっており、今後急速に高齢化が進むことが予想されます。



（大分市人口ビジョンより）

3 大分市の人口ビジョン

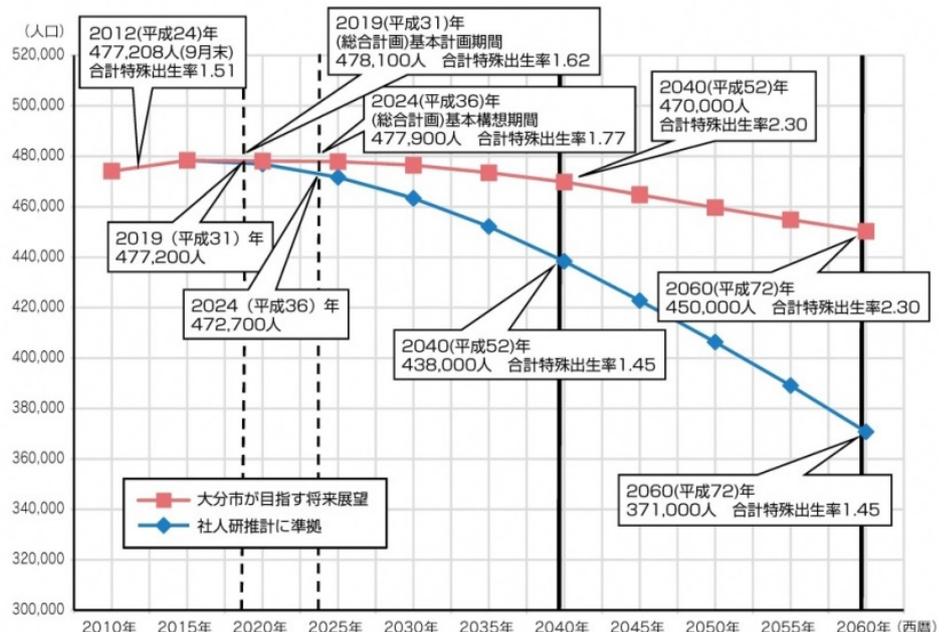
本市では、国や大分県の将来展望を勘案する中、県都大分市としての責任を果たすため、自然増については、結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現に向けた取組のさらなる充実を図ることにより、2030（平成42）年までに合計特殊出生率を2.0程度まで高め、2040（平成52）年には2.3程度まで高めることとします。

【大分市が目指す将来展望】
2060(平成72)年 人口45万人程度

また、社会増については、今後も東京圏を中心とした大都市への人口流出が懸念されることから、大分県全体を鑑みる中、県外から、特に東京圏を中心とした大都市からの転入者を増やすことを目指していきます。

このように自然増対策と社会増対策に取り組むことにより、人口減少に歯止めがかかり、2060（平成72）年の本市の人口は、45万人程度としています。

大分市の総人口の将来推計



（大分市人口ビジョンより）

わたしたちの住む地域について(SWOT分析)

地域ビジョン会議では、まず、それぞれの委員が自分たちの地域についてどのようなイメージを抱いているのか、委員が考える地域の魅力や課題などについて、自由に意見を出し、その意見を強みや弱み、機会、脅威といった要因別に分類整理し、地域の特徴や将来への課題などを体系的に整理しました。

◆SWOT分析とは

SWOT分析は、地域特性を、地域の内部環境に関する事項なのか、外部環境に関する事項なのか、強みまたは機会なのか、弱みまたは脅威なのかを分類整理する方法です。

多岐にわたる意見を体系化するのに適しており、地域の持つ強みや弱み、その地域が置かれている環境などを掘り下げるのに有効なツールです。



Strength (強み)

○立地やインフラなど充実した生活環境

- 生活の利便性がよい、中心市街地にも近い
(行政窓口、銀行、郵便局、医療、買い物ほか)
- アクロスを中心にまちの広がりがある
- インフラが整備されている
- 住宅地として心地よい生活環境

○恵まれた自然環境

- 静かな環境で、大きな自然災害が少ない
- 自然や公園が多く、四季折々の花が堪能できる

○充実した教育環境

- 教育熱心
- 学校、塾、習い事など、教育環境が整ったまち
- 幼稚園、小学校、中学校、高校、高専と充実

○治安がよいまち

- 大きな事件がない

○高齢者に優しいまち

- 高齢化が進む中、地域のコミュニティがある

○盛んな地域交流

- 地域の行事が活発、明野には三大大行事がある
- 50年前に始まった活動が現在まで続いて定着している
- ほとんどの世帯が自治会に加入
- 校区や自治会の行事にはおおむね協力的
- 世代を越えた交流ができる
- 伝統を築く住民パワーがある
- 子どもの登下校の見守り活動をしている
- ボランティア団体が、ごみ拾いをしている
- 若い母親と一緒に子どもサークルをつくっている
- ボランティアが集まり、フレンドカフェを開催

○他の地域とは異なる成り立ち

- 全国から人が集まってできた団地
- 移住者が多く、生活文化の違いが経験できる
- 考え方が多様で先進的
- 近隣関係に古いしがらみがない

Weakness (弱み)

○地域の歴史・伝統・風習がない

- 寺社による地縁でのつながりがない
- 昔ながらの隣保班や親戚に頼らない人間関係をつくっていく必要がある
- 職縁に比べて地縁がやや弱い
- マンション住人の地域参画が弱い
- コミュニケーションの取っ掛かりが難しい
- 消防団、青年団がない

○高齢化

- 一人暮らしの高齢者が増加
- 買い物、ごみ出しなどの日常生活が困難
- 生活上での相談ネットワークが弱い
- 福祉や防犯の対応は、自治会では間に合わない
- 行事参加者の固定化
- 社会の変化や価値観の多様化に追いつけない

○防犯対策

- 防犯カメラ設置の検討が必要な状況
- 樹木で視界が悪く、不気味な公園がある

○有害鳥獣対策

- 公園の樹木に多くのカラスが住み着いている

○公的、社会的な機関、施設等

- 民間施設が充実する反面、公共施設が不十分
- 支所がせまい
- スポーツのための公的施設がない
- 明治明野公民館の駐車場がすぐに満車になる
- 人口に対して、介護施設や産科が不足
- 潜在的な保育所の待機児童
- 地区社協の人手が足りない
- 福祉委員等の制度設計ができていない

○通学路の安全対策

- 交通安全設備の改良ができていない
- 通学路の側溝の蓋を整備してほしい
- 側溝の排水能力を高めてほしい

○道路勾配

- 生活道路に坂道が多く、自転車の利用が困難
- 特に高齢者の徒歩への負担感が大きい

○交通網

- バスの利便性が低く、自家用車が多くなる
- 朝夕の幹線道路の渋滞

Opportunity (機会)

○明野の良さを生かした「まちづくり」の推進

- ・大分市総合計画と明野創生ビジョンをうまく整合していかなければならない
- ・明野創生ビジョンが実現したら、明野に居住することに満足感を得られる
- ・支所機能を拡充し、「多世代交流プラザ」の強力な推進を行う
- ・今の静かな環境が心地よく、華美な明野であってほしくない（レジャーや飲食街は不要）
- ・将来像実現に向け、大分のモデル地区として長期的な支援を受けられる努力が必要

○防災対策の推進

- ・大分銀行ドーム周辺の県の防災拠点と関連して市の防災拠点を明野にすれば相乗効果が望める
- ・明野の立地特性（高台、中心市街地に近い、交通の便がよい、高速道に近い）から、複合型防災訓練センターを誘致する
- ・防災意識を高めるための機会をつくる
- ・地域全体の防災行事で意識が高まるのでは
- ・地域全体で災害対策協議会組織を結成する
- ・自治会連合会の各組織の協力体制を認識する
- ・地域と公的機関の情報連絡ができる場の確保
- ・防災上もコミュニティが大事
- ・明野地域独自の備蓄物資が必要
- ・学校の余裕教室に物資を備蓄してはどうか
- ・地域と企業の協定で物資を確保してはどうか
- ・地域と大分高専の協定による避難所
- ・Jアラートを活用したモデル地区とする
- ・防火、断水時、大規模停電時の対策等の周知
- ・明野住民以外の避難者が収容できる施設が必要

○公園機能の拡充

- ・人が集まる公園にするための仕掛けがほしい（設備等の整備、ラジオ体操実施）
- ・公衆電話がほしい

○バス路線網による利便性の向上

- ・バス路線がない区域を解消すれば利便性が高まる

○地域活動の施策の推進

- ・サロン活動が活発になってほしい
- ・若い世代が活動できる場が必要
- ・次代の担い手を見つけて育成したい
- ・多世代が気軽に交流できる器がほしい
- ・住民が集まれる場の充実（ホール、図書館など）
- ・座談会でご近所とのコミュニケーションを図る
- ・年齢別スポーツ大会の実施。年代が上がっても、次の年代で参加ができるため健康づくりや親睦が図れる
- ・地域活動をしている団体への支援強化を
- ・ボランティアグループ結成の支援を求めたい
- ・一過性のイベントはやめたほうがよい
- ・行政も地域と一体となって実行してほしい

○子どもの安全確保の推進

- ・学校の通用門に監視カメラをつける
- ・通勤車両の増加に伴い、横断歩道や信号などの設置の見直しを

○教育環境施策の検討

- ・教育機会をもっと増やす余地がある
- ・人材育成にもっと積極的に取り組むべき
- ・「教育ゾーン」を作ってはどうか

○地域福祉の推進

- ・子どもと高齢者との接点ができる機会をつくる
- ・子どもだけでなく、だれでも遊べるアクティビティ器具を公園に設置する
- ・コミュニティバス、デマンドバス、巡回販売
- ・孤独死防止ネットワーク
- ・一人暮らし高齢者の地域での日常の見守りと交流の充実が必要
- ・高齢者の見守り対策事業を推進する
- ・生活の困りごと（ごみ出し、電球交換など）を自治会事業で対応できないか
- ・民児協、社協、自治会の連携が必要（企画や活動の相互アシスト、災害対応など）
- ・地域福祉活動推進計画の策定
- ・介護施設の誘致

Threat (脅威)

○災害対策の欠如

- ・防災面での備えが不足している
- ・土砂崩れ危険区域がある
- ・大災害時の避難所のキャパシティが足りない
- ・地震等で電柱が倒れたら迂回路がない

○自動車交通の増加

- ・死亡事故を含む重大な交通事故が増えている
- ・周辺のマチの変化によって通過交通が増えている
- ・団地内の生活道路は歩車道分離がなく危険
- ・せまい歩道をさらに電柱が塞いでいて危険

明野地域の将来像

今後、少子高齢化がさらに進展し、本市の人口も減少が予想される中、福祉など市民の身近な施策の充実や地域コミュニティの活性化、効率的な行政運営など諸課題への対応が求められています。

このような中、「明野地域ビジョン会議」において、地域の魅力の向上や課題解決に向けた取組を検討し、地域のさらなる発展のために、地域の目指すべき姿（将来像）を以下のとおり決定しました。

—明野地域の将来像—

ひとが創る ひとが安心 ふるさと明野 そして未来



1 これからのまちづくりに向けた市長への提言

これまで、地域まちづくりビジョン策定の取組を通じ、改めて自分たちの住む地域を見直すとともに、魅力あふれ活かに富んだ地域をつくるために、地域と行政が一緒になってどのような取組を進めていくべきか議論を深めてきました。

今後、将来像実現に向けて地域と行政が一緒になって各種取組を進めていくに当たって、以下のとおり市長に提言いたします。

明野地域の『市長への提言』

提言1 多世代が交流する地域コミュニティの新構築を

明野地域のこれまでのコミュニティ形成においては、恵まれた生活環境と職縁の役割が大きかったが、時代の変遷とともに変化する生活様式や価値観に対応できる新しい地域ネットワークが必要である。隣人の顔が見えるふれあいを積み重ね、多世代が交流する地域コミュニティの新構築への行動が求められている。

提言2 明野を総合防災拠点に

安心して暮らせるまちを実現するためには、地域が一体となった防災・防犯対策が不可欠である。幹線道路や公園などインフラの骨格が充実した立地特性を生かし、災害避難時を想定した道路整備等のハード面からご近所の安否伝達等のソフト面まで、まちづくりの知恵を持ち寄り、地域防災を研究・実施する大分市の総合的な防災拠点となることが望まれる。

提言3 新しい試みと魅力の発信を

新産業都市企業群を支える新興団地起工から50年、ゆとりある住まいは生活者の利便性だけでなく、生産活動の一翼をも担っている。そのような明野には、新しい住まい方を提案する住環境整備、多世代交流を推進する施設整備、利用実態に即した公園整備など、新しい試みのモデル地区として、その魅力の発信が必要である。

提言4 多様な文化活動の広がりや深まりの推進を

明野地域の三大大行事（大体育祭、明野まつり、芸能祭）は住民交流の場として定着し、地域の融和や団結への期待は今も大きい。交流による出会いは、人と人をつなぎ、まちへの愛着と文化をはぐくみ、次代の担い手育成の契機となる。交流文化の灯が絶えぬよう、多様な文化活動の広がりや深まりを推進したい。

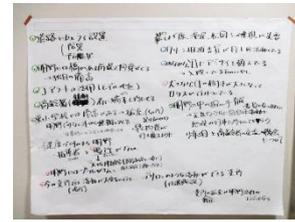
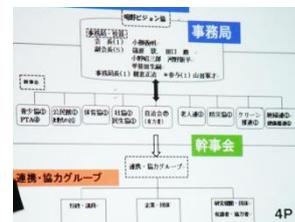
2 提言に基づく取組一覧

地域ビジョン会議では、前段の提言に基づき、今後取り組むものについての検討を行いました。(13取組)

番号	取組名	概要	備考
1	コミュニティ新構築のための多世代交流	高齢者の技能や技術、知識の継承、さらには生きがいづくりや居場所づくりの解決を図るために、多様な組織や人材が活動する拠点施設が必要である。建設の際には、支所の配置、在り方について検討した上で、支所を核施設に図書館や各種交流施設、研修施設等を複合した「多世代交流プラザ」を建設する。	提言1
2	明野を総合防災拠点に	明野は地理的、地勢的にも優位性にあることから、防災訓練機能を備えた拠点施設を主とし、子ども科学館を併設した複合的な施設を建設する。	提言2
3	幹線道路整備と歩道の改良	<ul style="list-style-type: none"> 慢性的な交通渋滞解消のため、庄の原佐野線の早期延伸と、それに先行する大分臼杵線の4車線化を要望する。 松岡日岡線の交差点改良、沿線の用途地域変更による地域商業の活性化を推進する。 団地内の美化とともに災害発生時と交通安全を見込んだ無電柱化と、歩道のバリアフリー化を図る。 	提言2
4	公園・緑地の整備と利活用	<ul style="list-style-type: none"> 公園が日常的な交流の場となるよう、マルシェやフリーマーケットを開く。 スポーツ利用のゾーンは憩いのゾーンとは別に、効果的な整備ができるようにする。アクティビティ器具を導入し、多世代に魅力ある運動遊びを提示する。 	提言3
5	防犯のための環境設計	社会状況の変化によって、防犯や交通安全の機能が相対的に低下してきている。子どもの見守り活動の実施、危険な場所の点検や改善など、防犯性の高いまちとなるよう環境設計を行う。	提言2
6	コミュニティバスの運行などの公共交通網の整備	事業者、医療・福祉機関、自治会、行政の協働でコミュニティバスの運行を行うなど、さまざまな方法により公共交通の整備を検討する。	提言3

番号	取組名	概要	備考
7	多様な世代に対応した住宅の供給	老朽化した公営住宅が再建の段階にきている。多様なニーズに対応できる住宅を供給するために、高層化やエレベータをつけるなど改良が望まれる。	提言3
8	地域のつながり強化	<ul style="list-style-type: none"> • 地域のつながりを強化するため、コミュニティ・スクールの導入に向け、地域、中学校、小学校、家庭の連携を深める。 • 子ども同士および子どもを介したコミュニティの新構築を図り、ライフステージに応じた地域での役割を用意する。 	提言1
9	ふるさと意識の醸成	近年では、小学生へ明野の歴史講座や明野音頭の指導を行っており、ふるさと意識を醸成していく良い機会ととらえている。子どもたちのふるさとへの関心を深め、地域活動への参加意識を高める。	提言1
10	地域グループの創生と次世代のリーダー育成	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の活力を継続的に発揮するには、子育て世代が地域活動に関わることが最良のエネルギーであることから、横のつながりをつくり上げ、地域グループによる積極的な活動を行う。 • 他地域と比べ青年層の就業者が多いことから、地域行事に積極的に参加するよう働きかけ、次世代のリーダーとして育成する。 	提言1
11	自治会区域の再検討	都市内分権を進める上では、自治会区域の再検討が必要である。円滑な運営、きめ細かな世話活動のために、実態を考慮し可能な限り規模の均等化を行う。	提言1
12	高齢者を支えるネットワークの構築	高齢者を地域でお互いに見守り・支え合うネットワークを構築し、豊かな地域福祉を実現する。	提言1
13	明野ブランドの創生	住民の交流と融和、生活のしやすさや教育環境、明野らしい文化・アート活動等を地域の価値として、明野が誇る地域ブランド・イメージを強化する。	提言4

資料



1 策定経過

年・月	取組内容
平成 29 年 5 月 17 日	明野地域ビジョン会議 準備会議
	明野地域ビジョン会議 委員の委嘱
5 月 31 日	明野地域ビジョン会議 第 1 回会議
	明野地域ビジョン会議 顧問の参画
7 月 28 日	明野地域ビジョン会議 第 2 回会議
11 月 15 日	明野地域ビジョン会議 第 3 回会議
平成 30 年 2 月 6 日	明野地域ビジョン会議 第 4 回会議
5 月 25 日	明野地域ビジョン会議 第 5 回会議
7 月 2 日	大分市地域まちづくりビジョン報告会 市長へ提言



2 明野地域ビジョン会議委員、顧問及び事務局名簿

■明野地域ビジョン会議 委員 18名 ※敬称略

役職	氏名	所属等
会長	山田 軍才	明野校区公民館 館長
副会長	小野 昭三郎	明野地区社会福祉協議会 会長、明野西町自治会長
委員	朝倉 正治	明野南町自治会長
委員	老浪 洋史	明野地区防災士協議会 会長
委員	小野 鶴子	明野地区地域婦人団体連絡協議会 会長
委員	甲斐田 生嗣	明野高尾自治会長
委員	河野 新平	明野地区体育協会 会長、東原自治会長
委員	小柳 義明	明野地区自治会連合会 会長、明野旭町自治会長
委員	是永 知宏	明野地区老人クラブ連合会 会長
委員	左村 友紀子	次世代の会「明野想成塾」、明野西小 PTA 役員
委員	篠原 敦	明野北町自治会長
委員	生野 壽男	明野地区クリーン推進員協議会 会長
委員	瀬田 仁子	明野地区健康推進員協議会 会長
委員	田口 巖	池ノ平自治会長
委員	玉田 香代子	元明野中学校 PTA 役員
委員	湯田 国男	明野地区青少年健全育成連絡協議会 会長
委員	和気 勇一	次世代の会「明野想成塾」会長
委員	渡辺 紘輔	明野地区民生委員児童委員協議会 会長

※構成員の所属は選任時のもの

■明野地域ビジョン会議 顧問 2名 ※敬称略

氏名	所属等
日小田 良二	大分市議会議員
高松 大樹	大分市議会議員

■明野地域ビジョン会議 事務局

役職	氏名	所属等
事務局長	藤野 宏輔 (児玉 康徳)	市民部 明野支所 支所長 (市民部 明野支所 次長兼支所長)
事務局次長	平松 雅彦	市民部 明治明野公民館 館長
庶務担当	後藤 芳枝	市民部 明野支所 参事
庶務担当	塩月 成一郎	市民部 明野支所 参事補
都市づくり担当	加藤 慎二	商工労働観光部 観光課 参事
都市づくり担当	工藤 啓一	農林水産部 生産振興課 主査
都市づくり担当	野崎 健司	土木建築部 河川課 参事補
都市づくり担当	後藤 健次	都市計画部 まちなみ整備課 参事補
総合調整担当	永野 謙吾 (廣田 暁則)	企画部 企画課 政策監 (企画部 企画課 参事補)
総合調整担当	佐藤 利彦	企画部 企画課 主任

※ () 内の表記は前任者を記載。また、構成員の所属は選任時のもの

3 大分市地域ビジョン会議設置要綱

(設置)

第1条 市民が思い描く地域の未来像であり、地域の特性を活かしたまちづくりの方向性についての市民の提言となる地域まちづくりビジョンを策定するため、地域ごとに地域ビジョン会議（以下「ビジョン会議」という。）を設置する。

(名称及び設置地域)

第2条 ビジョン会議の名称及び設置地域は、別表のとおりとする。

(所掌事項)

第3条 ビジョン会議は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1)地域まちづくりビジョンの策定に関すること。
- (2)地域まちづくりビジョンの市長への報告に関すること。
- (3)その他地域まちづくりビジョンの策定に関し市長が必要と認める事項

(組織)

第4条 ビジョン会議の委員は、25人以内とし、次に掲げる者のうちから市長が参画依頼する。

- (1)各種団体の代表者
- (2)校区会長
- (3)学識経験を有する者
- (4)その他市長が必要と認める者

(参画依頼の期間)

第5条 参画依頼の期間は、参画依頼の日から第3条に掲げる所掌事項が終了する日までとする。

(会長及び副会長)

第6条 ビジョン会議に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により選出する。

- 2 会長は、ビジョン会議を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 ビジョン会議の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長がその議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。
- 3 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。
- 4 会議は、原則公開とする。ただし、会長が必要と認める場合は、会議に諮って、これを公開しないことができる。

(部会)

第8条 ビジョン会議は、地域内における特定の地区及び事項について調査、研究等を行うための部会を設置することができる。

- 2 部会は、会長の指名した委員を部会員として組織する。
- 3 部会に部会長を置き、会長の指名する委員をもって充てる。

(顧問)

第9条 ビジョン会議ごとに顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、市議会議員とする。
- 3 顧問は、ビジョン会議からの要請に基づき、市長が参画を依頼する。
- 4 顧問は、ビジョン会議に対し助言を行うことができる。

(報償金等)

第10条 委員に対する報償金等は、予算の範囲内で、市長が決定し、これを支払うことができる。

(事務局)

第11条 ビジョン会議の庶務を処理するため、ビジョン会議ごとに事務局を置く。

2 事務局の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(その他)

第12条 この要綱に定めるもののほか、ビジョン会議の運営について必要な事項は、会長がビジョン会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成29年4月17日から施行する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、第3条に掲げる所掌事項が終了する日限り、その効力を失う。

別表(第2条関係)

名 称	設置地域
大分中央地域ビジョン会議	大分中央公民館の所管区域
大分西部地域ビジョン会議	大分西部公民館の所管区域
大分南部地域ビジョン会議	大分南部公民館の所管区域
南大分地域ビジョン会議	南大分公民館の所管区域
大分東部地域ビジョン会議	大分東部公民館の所管区域
鶴崎地域ビジョン会議	鶴崎支所の所管区域
大南地域ビジョン会議	大南支所の所管区域
植田地域ビジョン会議	植田支所の所管区域
大在地域ビジョン会議	大在支所の所管区域
坂ノ市地域ビジョン会議	坂ノ市支所の所管区域
佐賀関地域ビジョン会議	佐賀関支所の所管区域
野津原地域ビジョン会議	野津原支所の所管区域
明野地域ビジョン会議	明野支所の所管区域

(備考) 公民館の所管区域のうち、支所の所管区域は除くものとする。



明野地域ビジョン会議

【事務局】大分市企画部企画課 TEL：097-537-5603
大分市市民部明野支所 TEL：097-558-1255